

一般社団法人日本調理科学会 平成 28 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 8 月 27 日（土）15:00～17:40

場 所：名古屋学芸大学 本館 2 階 第一会議室（日進市岩崎町竹ノ山 57）

出席者：香西みどり会長、石井克枝筆頭副会長・今井悦子副会長・真部真里子副会長、會田久仁子、青柳恵子、綾部園子、新井映子、和泉秀彦、魚住恵、大喜多祥子、岡本洋子、笠倉知子、岸田恵津、次田一代、西堀すき江、丹羽哲也、沼田貴美子、藤井恵子、松本美鈴、三成由美、峯木真知子、吉濱義雄（以上理事 23 名）大谷貴美子、森高初恵（以上監事 2 名）

欠席者：坂本裕子、福田ひとみ（以上理事 2 名）

本日の理事会は定款第 33 条の規程（理事 25 名中 23 名）を満たし成立。

配布資料

資料 1 一般社団法人日本調理科学会 平成 28 年度第 1 回理事会議事録(案)

資料 2 一般社団法人日本調理科学会 平成 28 年度第 2 回理事会議事録(案)

資料 3 （一社）日本調理科学会第 3 回理事会報告資料（情報管理委員会）

資料 4 （一社）日本調理科学会第 3 回理事会報告資料（災害時メニュー開発に関する研究委員会）

資料 5 （一社）日本調理科学会第 3 回理事会報告（次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会）
出版契約の内容変更に関する覚書

資料 6 創立 50 周年記念事業にむけて（案）

資料 7 （一社）日本調理科学会 創立 50 周年記念事業実行委員会組織図

資料 8 （一社）日本調理科学会 創立 50 周年記念増刊号

資料 9 ◎（一社）日本調理科学会 創立 50 周年記念増刊号への「ご意見」募集◎

資料 10 「一般社団法人日本調理科学会 50 周年記念事業」へのご協力をお願い

追加資料 （寄附）

1. 会長挨拶

香西会長より平成 28 年度大会が行われる名古屋学芸大学和泉秀彦先生にお礼のことばが述べられ、今後とも協力頂きたいとの挨拶があった。

2. 議長選出

前例により議長は香西会長、議事録作成人は次田庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、石井筆頭副会長、大谷監事、森高監事とすることとした。

3. 前々回及び前回議事録確認

平成 28 年度第 1 回理事会議事録(案)（資料 1）および平成 28 年度第 2 回理事会議事録(案)（資料 2）を確認し、承認された。

4. 議事

【報告事項】

1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

香西会長並びに石井筆頭副会長、今井副会長、真部副会長から職務執行状況の報告があった。

2) 常置委員会からの報告

①編集委員会

真部委員長より日本調理科学会誌に関し、以下 4 点の報告があった。

- ・投稿数が電子投稿になった 26 年度は増加したが、昨年度から減少が続いている。是非投稿の呼びかけをお願いしたい。

- ・広告が取れず、広告収入減となっている。知り合いの企業等への働きかけをお願いしたい。
- ・来年度は、学会誌 1 号あたり 10 万円弱の経費節減が見込まれる。
- ・官能評価・調査の論文であっても、研究倫理について配慮した旨を本文中に記載するように周知をお願いしたい。

なお、香西会長より、広告が無い場合、裏表紙には学会ロゴではなく、学会及び支部活動の案内や宣伝などを適宜掲載するよう提案があった。

②情報管理委員会（資料 3）

石井筆頭副会長より資料 3 に基づいて以下の報告があった。

- ・大会研究発表の演題登録を大会実行委員会とともに管理した。
- ・研究発表要旨の J-STAGE への公開準備は新情報管理委員と大会実行委員会で行った。
著者名や所属名の不一致や家庭料理研究との混同や、登録時抄録の無いものなど訂正に苦労した。
- ・電子ジャーナルは今後編集委員会が行う。

3) 特別委員会からの報告の件

①刊行委員会

香西会長より、島田淳子氏著のクッカーサイエンス 007「油のマジック」が刊行され、表紙の装丁が変わったと報告された。

②規程委員会

特になしとのことであった。

4) 研究委員会からの報告の件

①災害時メニュー開発に関する研究委員会（資料 4）

石井筆頭副会長より、資料 4 に基づいて、以下の報告があった。

- ・熊本地震での炊き出し活動についての報告と課題
- ・今後のメニューづくりに関しての説明
- ・NPO キャンパーの熊本地震における炊き出し活動をまとめた報告書は今大会参加者全員に配布
- ・委員会は、今年度より石井筆頭副会長(委員長)、香西会長、今井副会長、綾部支部長が担当する。
熊本の炊き出し活動に尽力された三成支部長より、学生を参加させるには危機管理対応のマニュアル化を検討する必要がある、また嗜好の地域差を考慮したメニューがあるとよい等貴重な報告があった。

②次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会（資料 5）

石井筆頭副会長より、資料 5 に基づいて、以下の報告があった。

- ・平成 28 年度大会特別企画 1「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」ポスター発表と日本調理科学会誌における「家庭料理研究審査委員」の特別枠について
- ・日本調理科学会誌特別枠については、論文の電子投稿の際に「通常通り」と「家庭料理研究審査」を選択できるようにし、「家庭料理研究審査」を選択した場合は、固定した審査委員による丁寧な指導を含めた審査を受けることができる。
- ・来年度大会に向けたポスター発表の企画とその準備について

5) その他

①平成 28 年度事業報告会・学会賞授与式の件（資料 式次第）

香西会長より、以下の報告があった。

- ・大会当日の事業報告会次第、学会賞授与式次第について
- ・学会への功績のある江原絢子氏が、新たに名誉会員に加わる。
- ・大会会場校挨拶は急逝された井形学長に代わり、杉浦副学長がお引き受けくださった。

②平成 30 年度大会の件

大喜多理事より、平成 30 年度大会は近畿支部担当で、会場は武庫川女子大学を予定と報告された。

【審議事項】

1) 創立 50 周年記念事業の件（資料 6）

香西会長より、資料 6 に基づき創立 50 周年記念事業に向けてのスケジュールが説明され、承認された。

①組織の件（資料 7）

香西会長より創立 50 周年記念事業実行委員会組織について資料 7 の通り説明され、承認された。

②創立 50 周年記念出版の件

香西会長より「伝え継ぐ 日本の家庭料理」出版に関して、以下の説明があり、いずれについても承認された。

- ・今まで進めていた都道府県別の販売は難しく、進捗状況も県により差がある。
- ・従って、当初予定の都道府県別 48 巻刊行を変更し、テーマ別の構成内容で、雑誌の別冊（別冊うかたま）とし、これを創立 50 周年の記念出版とする。
- ・配布資料、「出版契約の内容変更に関する覚書」のように契約を変更する。
その後、8/29 勉強会で使用する資料が配布され、今後の具体的な計画と今後の進行について、以下の説明があった。
- ・各県 40 点の料理リスト提出期限は 10 月 17 日である。
- ・著作経費は、すでに支払われている 15 県については 100 品で 40 万円、経費未払いの 32 県については 40 品で 16 万円である。
- ・農文協から学会へ支払額から足りない分 152 万円は学会で補填する。
- ・著作経費払い込み済みの 15 県については、作業にまだ取りかかっていない県などは学会に返金して頂けると有り難い。
- ・協力者への対応、献本、著作割引について。
- ・著作権についてはレシピ、解説文などの誌面そのものは学会に、写真はすべてカメラマンに帰属する。
- ・組織については家庭料理編集委員会から移行し、新たに 50 周年記念出版委員会（略称：出版委員会）とし、委員長に香西会長、副委員長に石井筆頭副会長、今井副会長、真部副会長、委員に大越前会長、長野前副会長、東根氏、福留氏が担当する。
- ・出版に関する連絡は、出版委員会専用メールアドレスにする。

③創立 50 周年記念増刊号編集の件（資料 8、9）

真部副会長より、創立 50 周年記念増刊号編集について資料 8 に基づき、以下の説明があり、いずれについても承認された。

- ・支部における創立 40 周年からの 10 年を振り返っては現在の支部長が担当する。
- ・会員意見「これからの調理科学」は各支部 4 名以上の原稿を掲載したい。
- ・その 4 名の選出は支部長に一任するが、4 名のうち 1 名は学生会員が望ましい。
- ・原稿募集は資料 9 の応募要領にしたがって行う。

また、これまでの大会のポスターを掲載する案もあるので、資料提供に協力をと要請があった。

④創立 50 周年募金の件（資料 10）

大越前会長より、創立 50 周年募金について、資料 10 に基づき、以下の説明があった。

- ・募金要項については、1 口 1 万円（40 周年は 1 口 2 万円であったが減額）、納入期間は平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日（12 月発行の学会誌 49 巻 6 号に掲載）とする。

- ・申し込み方法は HP からインターネットによる申し込み、ゆうちょ銀行振込用紙による申し込みとし、寄附をいただいた方のご芳名は学会誌増刊号に掲載する。
- ・これに対して、納入締切りを平成 29 年 5 月 31 日とすると 6 月の代議員総会に報告できる、寄附者のご芳名を増刊号に載せるのであれば 6 月末までに入金が必要がある、振込先をコンビニ振込も加えてはという意見があった。

審議の結果、募金額は 1 口 1 万円とし、コンビニ振込に関しては検討することとし、資料 10 は承認された。

⑤創立 50 周年記念大会の件

今井副会長より、資料 7 を参考に、記念行事委員会からの報告があった。

記念行事として、資料 7 記載の項目に大会での記念展示と学会パンフレットの作成を追加する。詳細や内容は未定であるが、式典は大会 1 日目に 1 時間程度の予定、記念シンポジウムは仮題「現代の食に調理科学はどう貢献できるか」で、シンポジストは 4 名程度、記念講演会は 2 日目午後に 2 時間程度「未来に向かってどう調理科学研究を進めるか」で、講演者 3 名を検討中との説明があった。香西会長より、意見がある場合は事務局に連絡するよう依頼があった。

2) 生活やものづくりの学びネットワーク、世話人の件

大越前会長より、世話人は関東周辺で場所を提供できる人がよく、家庭科教育学会の伊藤先生にも相談するとの説明があった。

3) 新入会員承認の件

正会員 14 名、学生会員 25 名が新たに承認された。

4) その他

特になし。

以上

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	石井 克枝	印
	監事	大谷 貴美子	印
	監事	森高 初恵	印